

姫路市おたふくかぜ予防接種助成申請書兼助成券

私は下記対象者の保護者であり、おたふくかぜ予防接種（任意予防接種）を希望しますので、関係書類を添えて申請します。

申請者(保護者)氏名	続柄 ()										
申請者(保護者)住所 (連絡先)	姫路市 (Tel - -)										
対象者氏名 (漢字)											
対象者氏名 (カナ) <small>姓の間は1マス空けてください。</small>											
出生日	令和			年				月			日

※申請者（保護者）の方へ、母子健康手帳の予防接種歴が分かるページの写しを提示してください。

※制度内容等裏面もご確認ください。

○接種者（対象者）の確認（確認した項目に✓すること。） 姫路市記載欄

項目	姫路市確認欄
(1) 助成券発行日時点で姫路市に住民票がある	<input type="checkbox"/>
(2) 助成券発行時点で1歳以下である	<input type="checkbox"/>
(3) 過去におたふくかぜ予防接種を受けたことがない	<input type="checkbox"/>
助成券発行日	年 月 日
発行場所	() HC・() 分室

※助成券発行日及び発行場所が未記入の場合は利用できません。

○医療機関記載欄（確認した項目に✓すること。）

項目	医療機関確認欄
(1) 接種日時点で姫路市に住民票がある	<input type="checkbox"/>
(2) 接種日時点で1歳である	<input type="checkbox"/>
(3) 過去におたふくかぜ予防接種を受けたことがない	<input type="checkbox"/>

※医療機関の方へ

- ①乳幼児等医療費受給者証等で接種日時点において姫路市民かを確認してください。
- ②母子健康手帳等で接種歴を確認してください。
- ③予診の結果接種不適当と判断した場合、この助成券は保護者の方に返却してください。

医療機関名											
医療機関住所											
接種日 (西暦)	年		月		日						

接種を受ける前に
必ずお読みください。

おたふくかぜワクチンの接種について



1. おたふくかぜってどんな病気？

ムンプスウイルスによる全身感染症で潜伏期間は2~3週間です。人に感染させる時期（ウイルス排泄時期）は発病数日前から主要症状消退まで続きます。耳下腺腫脹が最も多く、年長児や成人では合併症の頻度が高くなります。合併症では無菌性髄膜炎が最も多く、診断される頻度は1~10%といわれています。頻度は少ないですが脳炎、膵炎、成人男性では精巣炎なども知られており、女性では卵巣炎を合併することもあります。最近、国内外において難聴合併への注意が促されています。

2. おたふくかぜワクチンについて

・生後12か月以上のおたふくかぜ既往歴のない者が受けることができる生ワクチン【注射】であり、皮下に注射します。

3. 副反応について

・軽度な副反応として、接種部位の痛みや微熱、軽度の耳下腺腫脹があります。重大な副反応としては無菌性髄膜炎があり、おたふくかぜワクチンに由来すると考えられる無菌性髄膜炎は0.03%~0.06%の頻度で発生すると報告されています。

4. 助成内容等について(予防接種の受け方)

- (1) 助成金額 3,000円
- (2) 対象者 1歳児（2歳になると利用できません。）で過去におたふくかぜ予防接種を受けたことが無い方。（1回目の接種のみが対象となり、2回目の接種は助成の対象となりません。）
- (3) 助成方法 市内の予防接種実施医療機関で予防接種を受けてください。接種後に医療機関から請求される予防接種費用から助成額3,000円を引いた金額を医療機関窓口でお支払ください。
- (4) 持ち物 ①母子健康手帳 ②予防接種助成券 ③乳幼児等医療費受給者証
- (5) 注意点 ①生ワクチン【注射】（BCG、麻しん、風しん、水痘）との接種間隔に注意してください。
生ワクチン【注射】を受けた後に新たな生ワクチン【注射】を受ける場合、27日以上の間隔が必要です。
②市外に住民票を異動された場合、助成券は利用できません。
③予防接種は体調の良い時に受けましょう。
④姫路市おたふくかぜ予防接種助成事業が終了した場合、助成券は利用できなくなります。

〈お問い合わせ先〉

姫路市保健所防疫課 予防接種担当 電話 (079) 289-1721